

「福島県立医科大学看護学部 活動報告会

～福島県内の看護職の皆さまと看護学部教員の協働活動促進に向けて～

福島県立医科大学看護学部は、福島県の看護の質の向上をめざして、看護実践・教育・研究に取り組んでいます。福島県のニーズに沿ってさらに看護の質が向上していくためには、地域の看護職の皆さまとの協働が不可欠です。そこで、福島県内の看護職の皆さまと看護学部教員の協働活動促進に向け、その第一歩として、平成31年3月6日に本学部の活動報告会を開催しました。

報告会には、県内の9施設から17名の方が参加してくださいました。報告されたのは8演題で、内容は看護学部教員（個人・専門領域・有志）の取り組んでいる研究や研修会、学習会などでした。発表方法に工夫を凝らした領域もあり、笑いもまじえながらの報告会となりました。参加者の皆さまからは、「興味深く聞いた」、「日々の看護や臨床教育に活かせる内容であった」、「刺激を受けた」などの感想をいただきました。

この報告会を機に、福島県内の看護職者の皆さまと共に福島県の地域の皆さまのニーズを捉えながら、それに即した看護について考え実践できるよう、看護学部としての役割を見出しながら、その役割を果たしていきたいと考えています。

